

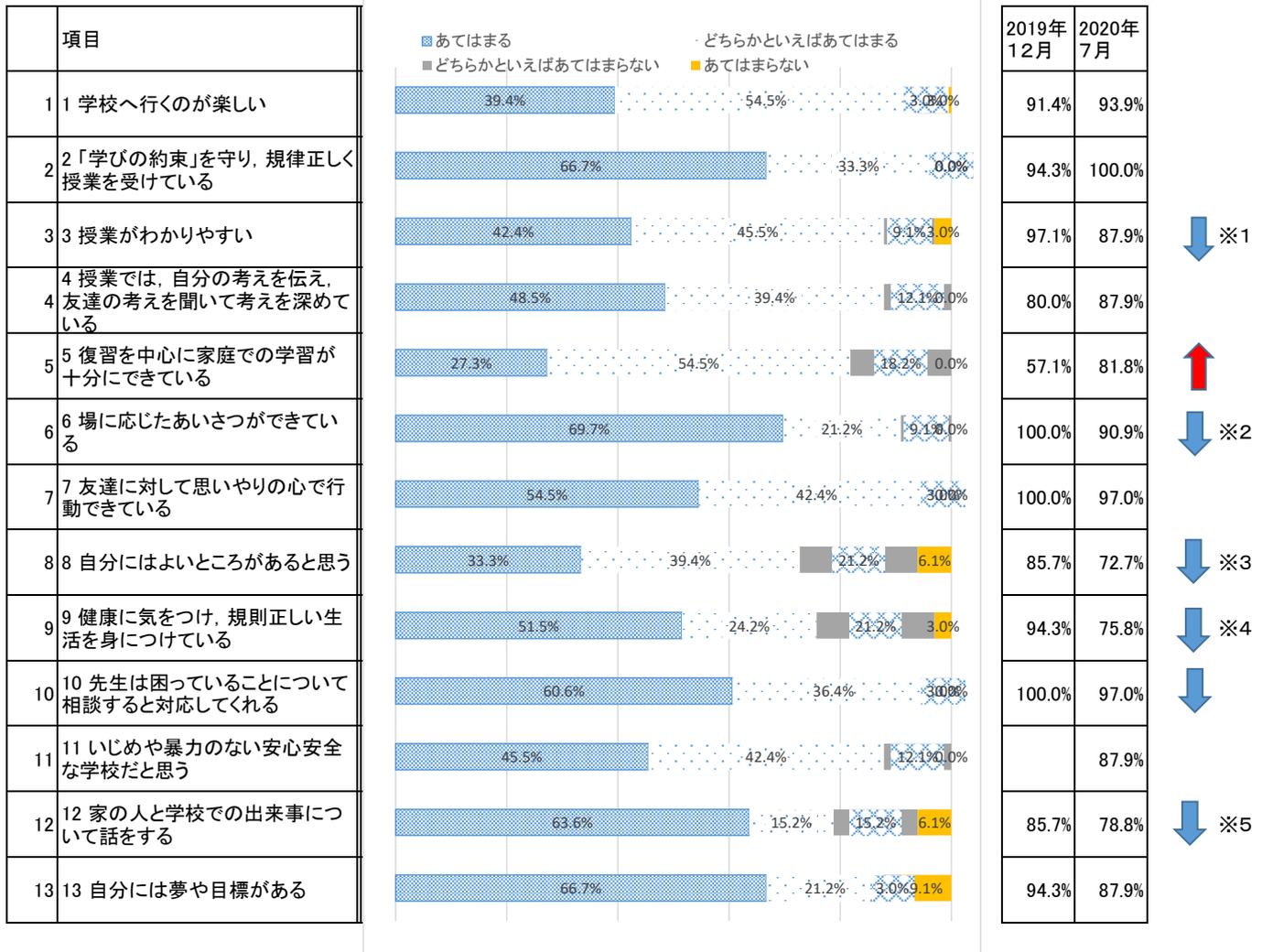
## 1学期末 学校アンケートの集計結果

霜寒の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、たいへん遅くなりましたが、7月に実施しました保護者アンケートの集計結果をお知らせいたします。アンケートを受けて、努力して参りましたが、まだまだ至らぬことが多いと思われまます。改善されたところも含めて後期のアンケートにお答えいただければ幸いです。

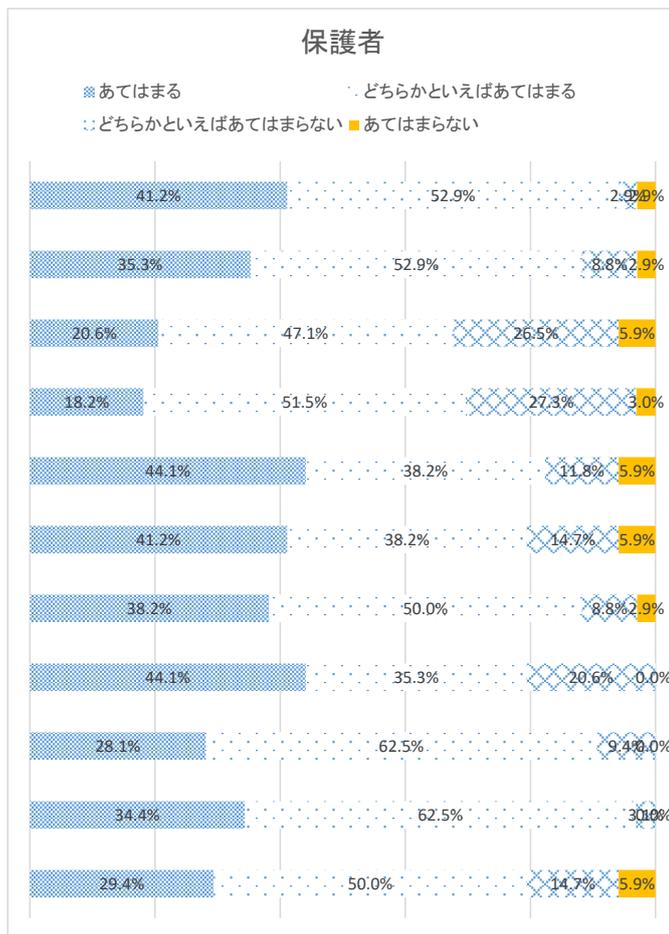
表右側の※の同じ数字のものについて、最後に考察してあります。

### (1) 学校アンケート(生徒)



## (2) 学校アンケート(保護者)

項目
1 お子さんは楽しく学校に行っていると思う
2 お子さんはしっかりと授業を受けていると思う
3 お子さんは授業がわかりやすいと感じている
4 お子さんは家庭での学習が十分にできていると思う
5 お子さんは進んで挨拶をしていると思う
6 お子さんに思いやりの心が育ってきていると思う
7 お子さんは自分によいところがあるとと思っている
8 お子さんは規則正しい生活をおくれている
9 学校はお子さんのことについて、いつでも相談に応じてくれると思う
10 学校は、いじめや暴力のない安心安全な学校づくりに取り組んでいると思う
11 学校の様子がよくわかり、お子さんと話しをするほうだと思う



2019年 12月	2020年 7月
94.3%	94.1%
	88.2%
88.6%	67.6%
65.7%	69.7%
91.4%	82.4%
94.3%	79.4%
	88.2%
88.6%	79.4%
91.4%	90.6%
90.9%	96.9%
88.6%	97.0%



### 〈考察〉

- ※1 「授業がわかりやすい」の肯定意見の%が下がっている。  
 ・学年別でみると1年生に「どちらかといえばあてはまらない」があることによる。これは小学校からのゆっくりとした個別対応からの、6月からの急激な変化にとまどいがあるものと思われる。  
 ・保護者にも「どちらかといえばあてはまらない」が増えており、3年生が4名と増加しているのも課題である。今後はさらに「わかる授業」に向けて工夫することが必要と思われる。
- ※2 「挨拶ができていいる」の肯定意見の%が下がっている。  
 ・1年生の生徒、保護者に「どちらかといえばできていない」がみられる。コロナで大きな声での挨拶はできないが生徒会もまきこんで挨拶の大切さを指導し奨励していきたい。
- ※3 「自分によいところがある」の肯定意見が下がっている。  
 ・1年生も2年生も「どちらかといえばあてはまらない」と答えている生徒がおり、自己肯定感が低い傾向にある。1人ひとりの良さを認めるはたらきかけをさらに進めていく。
- ※4 「規則正しい生活を身につけている」の%が下がっている。  
 ・1～3年生とも、数名の「どちらかといえばあてはまらない」がおり、休校が続いたことによる、不規則な生活態度から抜け出せない生徒がいるものと思われる。  
 ・保護者としては、1年生の保護者により多く「どちらかといえばあてはまらない」と答えている。  
 ・教員側は、学校での生活に問題はないと感じており、支障をきたすほどの乱れはないようである。
- ※5 「学校の様子がよくわかり、お子さんと話しをする」の肯定意見の%が下がっている。  
 ・昨年の「ようすがよくわかる」「話をよくする」のどちらよりも下がっている。後期は分けて設問予定。  
 ・1年生の生徒・保護者とも否定意見の%が高い。小学校からの発達段階として会話が不足しているからと思われる  
 ・3年生の生徒も、話していないことの自覚があるようだ。家庭内でのコミュニケーションを多くなるはたらきかけ(宿題等で親のコメントを記入など)を考えていく。